

Lectures 12-13: 形態素(part 2: 複合語)

- 複数の語根から成る語を, 複合語または合成語(compound word)と呼ぶ.
- 「春雨」は haru + ame が /haru/ + /same/に, 「雨傘」は ame + kasa が /ama/ + /gasa/になっている.
この場合/same/や/ama/は形態素{ame}を実際に現れた形(異形態, allomorph), /gasa/は{kasa}の異形態.
(考えよう1) なぜ「春雨」の ame は/same/に変わるのだろうか? (vowel sequence?)

(考えよう2) なぜ「雨傘」の ame は/ama/に変わるのだろうか? (vowel harmony?)

(考えよう3) なぜ「雨傘」の kasa は/gasa/に変わるのだろうか? (sequential voicing?)

- 「あらたし」が「あたらし」に入れ替わってしまうような現象は, 音(の)位(置の)転換(metathesis)と呼ばれる.
- peas から pea, beggar から beg, editor から edit 等ができたのは逆成(back formation)と呼ばれる.

- 混成(blend)した要素の一部が短縮(刈り込み, clip)されることも多い.

(考えよう4) 朝日新聞より

例	地下鉄	カネボウ	ときとば	ひがも	もんぺ	きよぶた
形態素分析 (区切り)						
例文						
特徴 (区切りや 使い方など)						

- 佐藤(1989)を読み, 以下のペアが有声化(連濁)によりどのように意味を変えるか説明せよ.
「おひれ」と「おびれ」
「はしりかき」と「はしりがき」
「もんしろちょう」と「おじろわし」

exam 1 の採点基準

- 子音/r/において, 舌が歯茎または硬口蓋から離れていく動作
- 子音/r/は有声音なので声帯振動があること
- 母音/a/で, 舌を下げ口を開く動作
- 子音/k/において, 軟口蓋と後舌での破裂動作
- 子音/k/は無声音なので声帯振動を伴わないこと
- 母音/u/で, 口が狭まり舌が引っ込む動作

の, 全てに言及があれば A とする. 一つ記述不足や誤った記述があれば B, 二つあれば C.